



取組を点検することの重要性は各学校に浸透してきていますが、点検を計画立案の際に重視していたり、そもそも全体計画に位置付けたりしている学校はまだ多くありません。

学校でキャリア教育を適切に行っていく上で、取組の改善につながるよう点検することの重要性は浸透してきています。

取組の改善につながる評価を実施することを「とても重要だと思う」「ある程度重要だと思う」と答えた割合(第一次報告書P75, P138, P245)

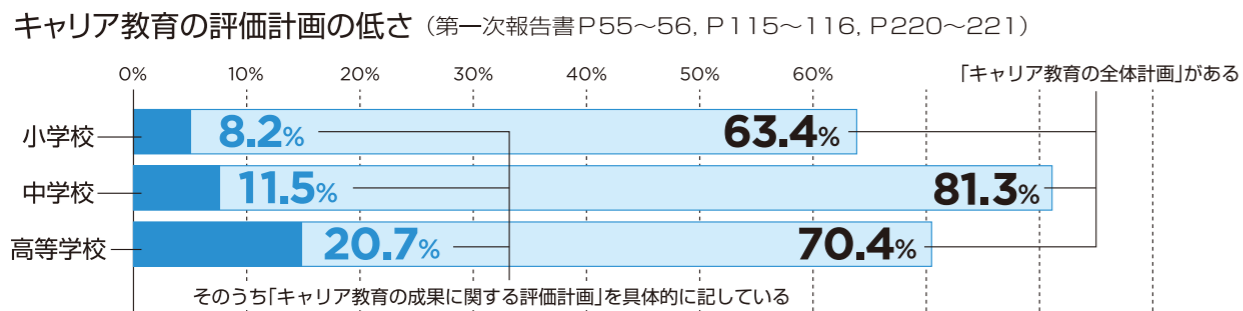
小学校	中学校	高等学校
93.5%	96.0%	93.4%

しかし 取組の改善につながる点検を重視する学校は、まだまだ少ないのが現状です。

キャリア教育の計画を立てる上で、取組の改善につながる評価を実施することを「重視した」と答えた割合(第一次報告書P60, P120, P225)

小学校	中学校	高等学校
7.4%	13.7%	16.6%

そもそも キャリア教育の成果について点検することを全体計画内に組み込んでいる学校は多くありません。



どのようにしていけばよいでしょうか？

点検を行う上で大切にしたいポイント

点検を行う上で大切にしたいポイントを三つ示しました。さらに、ポイントごとにより具体化したものを例示しています。各学校の実状に応じて御参考にしてください。

Point 1 組織の視点から:実践を継続的に進められる体制をつくる

- 1-1 全教職員で、キャリア教育を通して児童生徒に身に付けさせたい力を共有したか？
- 1-2 各取組が、学級・ホームルームや学年を越えて、相互に関連付けられているか？
- 1-3 取組を進める上で、各教職員に求める負担が過剰になっていないか？

Point 2 指導計画の視点から:目標,計画,実践の一貫性を確認する

- 2-1 身に付けさせたい力と、各教科での学習や体験活動等との関連が指導計画内に具体的に示されているか？
- 2-2 目標の達成について、検証可能な計画になっているか？

Point 3 連携の視点から:キャリア教育の充実につながる関係をつくる

- 3-1 キャリア教育のねらいや身に付けさせたい力などを関係者と共有しているか？
- 3-2 体験活動等に対する地域・保護者の理解と協力が得られているか？
- 3-3 地域組織や企業・事業所との連携を図っているか？

改善案

例えば、上記のポイントを踏まえた改善で、始めやすいものとして下記が考えられます。

- キャリア教育のリーダーを中心とした研究・研修の推進 1-1 1-2
- 取組のスクラップ・アンド・ビルド 1-3
- アンケートを生かし、キャリア教育の視点を明確にした指導計画の作成 2-1
- 保護者・地域・事業所等と恒常的に意見交換するための仕組みづくり 3-1 3-2 3-3

